

鹿児島県知的財産推進戦略【2022年改訂版】の概要

令和4年3月29日 産業立地課

第3章 県知的財産推進戦略の基本方針

《基本目標》
 知的財産を大切にすることの意識の醸成や、産学官連携により知的財産が活発に創造され、これを適切に保護、活用することで、地域産業の競争力強化や本県の特性を活かした付加価値の高い産業の創出を図り、「稼ぐ力」の向上につなげる。

- 【基本方策】
- 知的財産を大切にすることの意識の醸成
 - 知的財産の創造・保護・活用のサイクル確立による産業競争力の強化
- 《数値目標》
- 令和4年から令和8年までの5年間の出願累計
 - ・特許 860件 (年平均172件)
 - ・実用新案 80件 (年平均16件)
 - ・意匠 140件 (年平均28件)
 - ・商標 2,890件 (年平均578件)
 - ・国際出願 150件 (年平均30件)
 - 産学官連携による「新技術・新製品」の開発件数
 - ・「新技術・新製品」開発件数 910件(182件/年)
 - 工業技術センターにおける特許出願件数及び実施許諾件数
 - ・特許出願件数 15件(3件/年)
 - ・実施許諾件数 100件(延件数)(20件/年)

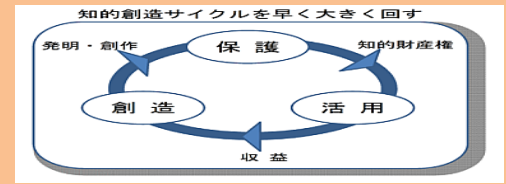
第4章 基本方策の取組方針

※国や(独法)工業所有権情報・研修館(INPIT)の支援制度も含めて記載

- 【知的財産を大切にすることの意識の醸成】
- 知的財産に関する普及啓発の推進
 - ・県民に対する普及啓発の推進
 - ・中小企業等に対する普及啓発の推進
 - ・国や中小企業支援機関等と連携した普及啓発
 - 人材の育成
 - ・中小企業等における人材の育成支援
 - ・大学等における知的財産教育の促進
 - ・こどもが創意・工夫に親しむ環境づくりの推進

- 【知的財産の創造・保護・活用のサイクル確立による産業競争力の強化】
- 知的財産の創造
 - ・中小企業等における研究開発の促進
 - ・中小企業支援機関の連携強化
 - ・知財総合支援窓口でのワンストップサービスの提供
 - ・産学官連携による共同研究等の推進
 - ・職務発明制度の整備・充実
 - 知的財産の保護
 - ・知的財産の権利化の支援
 - ・知財総合支援窓口による出願手続支援等
 - ・知的財産の侵害対策の推進
 - ・海外における知的財産の保護に関する情報提供等
 - ・紛争対策

- 知的財産の活用
- ・中小企業等における知的財産活用の促進
 - ・知的財産活用推進員による工業技術センター保有特許と企業ニーズのマッチング強化
 - ・金融機関による企業支援
 - ・地域ブランド化の推進



第5章 県知的財産推進戦略の推進体制

- 【鹿児島県知財戦略推進ネットワーク会議の設置】 県内の知的財産の支援機関等で構成
- 【鹿児島県知財戦略推進会議の設置】 庁内の推進組織として知財関係部局等で構成

序章 知的財産について知ろう！

- ・「知財で『稼ぐ!』」 * 知財の必要性を漫画で紹介
- ・知的財産権(産業財産権)ってどんなもの? * 図でわかりやすく記載
- ・県内企業の取組事例

第1章 知的財産を取り巻く背景等

- 【国の動き・施策等】
- ・「知的財産推進計画2016」において「地方、中小企業、農林水産分野等における知財戦略の推進」を重要課題として位置づけ。
 - ・「第1次地域知財活性化行動計画」(2016年)、「第2次地域知財活性化行動計画」(2020年)を策定し、中小企業等の知的財産支援策の充実を図っている。
- 【県におけるこれまでの取組状況とその成果・課題】
- ・知財総合支援窓口での相談件数 → 年々増加傾向
 - ・特許や意匠の「登録件数」→ 近年増加傾向
 ⇒ 知的財産権の重要性を認識し、経営に生かす企業等は、徐々に増えつつあると考えられる。
 - ・数値目標(知的財産権の累計出願件数)を達成したのは「意匠権」のみ、特許権、商標権は、わずかに及ばず、実用新案権、国際出願は、大きく目標に届かず。
 - ・知的財産の重要性を認識し、経営に生かす企業が増えてはいるものの、一部の企業にとどまっておき、引き続き、知財経営の重要性や知財支援施策の普及、知財の保護・活用を図る企業の支援等に関係機関と連携して取り組む必要がある。

<数値目標> 知的財産権の累計出願件数
 ※R3実績未公表のため、R2までの4年間の年平均と目標値の年平均で比較

産業財産権	H29~R2 (年平均) A	目標値 (年平均) B	H29~R2 目標達成率A/B
特許権	173	182	94.9
実用新案権	17	32	53.9
意匠権	27	24	112.5
商標権	552	560	98.5
国際出願	27	40	67.5

第2章 県内の知的財産の現状と課題

- 1 本県産業全体の現状・課題
- 2 本県産業分野等別の現状・課題
 - (1) 工業分野 * 保有特許等の具体的な活用事例追加
 - (2) 農業分野
 - (3) 林業分野
 - (4) 水産業分野
 - (5) 観光産業分野
 - (6) 大学等
 - ・ベンチャー企業事例紹介、(株)鹿児島TLO